

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																	
	1 項	農業費		第 節			()																																																	
	3 目	農業振興費		()			()																																																	
実施計画掲載ページ			中 事 業		農業振興対策費																																																			
事業コード			事 業 名		農作物有害鳥獣捕獲事業																																																			
目的及び事業内容		<p>牡鹿半島では、ニホンジカによる交通事故、農林業被害が増加しており、最近では半島外の地域でもニホンジカが原因とみられる農林業被害の情報が寄せられている。そのため、ニホンジカ被害の軽減、被害区域拡大の防止のため、宮城県猟友会石巻支部及び河北支部に有害鳥獣捕獲業務を委託し、宮城県ニホンジカ管理計画に基づき、年間捕獲頭数700頭を目標に捕獲圧を高め、被害の軽減、防止に努める。</p> <p>また、河北、河南、北上においてはカルガモやカラス等の予察捕獲を実施し、農作物の被害防止に努める。</p>																																																						
取組実績		<p>1 石巻市有害鳥獣捕獲業務（ニホンジカ）</p> <p>(1) 宮城県猟友会石巻支部（石巻警察管内） 委託料 10,578,600円（有害鳥獣捕獲業務） 委託期間 平成29年4月18日～平成30年2月20日</p> <table border="1"> <tr> <td>稲井地区</td> <td>渡波地区</td> <td>荻浜地区</td> <td>牡鹿地区</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>59頭</td> <td>72頭</td> <td>130頭</td> <td>456頭</td> <td>717頭</td> </tr> </table> <p>(2) 宮城県猟友会河北支部（河北警察管内） 委託料 6,822,360円（有害鳥獣捕獲業務） 委託期間 平成29年4月13日～平成30年2月20日</p> <table border="1"> <tr> <td>河北地区</td> <td>雄勝地区</td> <td>桃生地区</td> <td>北上地区</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>113頭</td> <td>35頭</td> <td>9頭</td> <td>5頭</td> <td>162頭</td> </tr> </table> <p>2 ニホンジカ搬入処理業務（解体処理施設までシカを搬入する業務） 委託料 2,081,520円 委託期間 平成29年9月20日～平成30年1月31日</p> <table border="1"> <tr> <td>支部名</td> <td>石巻支部</td> <td>河北支部</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>頭数</td> <td>86頭</td> <td>37頭</td> <td>123頭</td> </tr> <tr> <td>総重量</td> <td>5,838kg</td> <td>2,658kg</td> <td>8,496kg</td> </tr> </table> <p>3 石巻市鹿除去作業（民有地の網に絡まったニホンジカ除去） 委託料 4,492,800円（単価契約） 委託期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日</p> <table border="1"> <tr> <td>石巻支部</td> <td>河北支部</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>134回</td> <td>282回</td> <td>416回</td> </tr> </table> <p>4 農作物有害駆除業務（河北、河南、北上、桃生地区） 委託料 1,342,020円 委託期間 平成29年4月1日～平成29年10月31日</p> <table border="1"> <tr> <td>カルガモ</td> <td>カラス</td> <td>キジバト</td> <td>スズメ</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>239羽</td> <td>254羽</td> <td>14羽</td> <td>12羽</td> <td>519羽</td> </tr> </table>							稲井地区	渡波地区	荻浜地区	牡鹿地区	合計	59頭	72頭	130頭	456頭	717頭	河北地区	雄勝地区	桃生地区	北上地区	合計	113頭	35頭	9頭	5頭	162頭	支部名	石巻支部	河北支部	合計	頭数	86頭	37頭	123頭	総重量	5,838kg	2,658kg	8,496kg	石巻支部	河北支部	計	134回	282回	416回	カルガモ	カラス	キジバト	スズメ	合計	239羽	254羽	14羽	12羽	519羽
稲井地区	渡波地区	荻浜地区	牡鹿地区	合計																																																				
59頭	72頭	130頭	456頭	717頭																																																				
河北地区	雄勝地区	桃生地区	北上地区	合計																																																				
113頭	35頭	9頭	5頭	162頭																																																				
支部名	石巻支部	河北支部	合計																																																					
頭数	86頭	37頭	123頭																																																					
総重量	5,838kg	2,658kg	8,496kg																																																					
石巻支部	河北支部	計																																																						
134回	282回	416回																																																						
カルガモ	カラス	キジバト	スズメ	合計																																																				
239羽	254羽	14羽	12羽	519羽																																																				
成 果		<p>計画的なニホンジカ駆除の実施等により、被害の軽減と被害区域拡大の防止が図られた。 なお、東日本大震災の影響により、詳細な被害状況は把握できていないが、有害捕獲による効果はあったものと思われる。</p>																																																						
成果に係る評価		<p>東日本大震災の影響によるニホンジカの生息域拡大により牡鹿半島外での被害の増加がみられた。平成29年度は有害捕獲業務を前年度よりも20日間、業務日数を増やしたため、捕獲頭数が879頭と大きく増加した。また、石巻市内に存在する2カ所の解体処理施設を活用することによって、捕獲後のシカの適正な処理への推進につながった。依然として農作物への被害があることから、有害鳥獣捕獲業務を継続して取り組む必要がある。</p>																																																						
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	25,317,300	25,317,300	7,728,505		8,000,000		9,588,795																																																	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元 気産業を創造するまち	復興計画	()																											
	1 項	農業費		第 4 節	魅力的な農林業を確立 する		()																											
	3 目	農業振興費		(1)	効率的な高生産性農業 を確立する		()																											
実施計画掲載ページ			P43	中 事 業		農業振興対策費																												
事業コード		003-004-001-00169	事 業 名		みやぎの水田農業改革支援事業																													
目的及び事業内容		<p>米の需給調整に係る集団転作に取り組む生産組合等を対象とし、作業の効率化及び適期作業による品質向上を図るための作業機械導入経費の軽減を目的に、宮城県と本市が補助金を交付する。</p>																																
取組実績		<p>1 転作用機械を導入する補助対象事業者（12組織）に対し、県補助金（1/3～4/10）に市が5%嵩上げた補助金を交付し、作業機械導入経費の軽減を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>事業実施主体</td> <td>導入機械</td> </tr> <tr> <td>ア 本地生産組合</td> <td>汎用コンバイン1台</td> </tr> <tr> <td>イ (農)大峰アグリフューチャー（河北）</td> <td>溝堀機1台、サブソイラー1台、タバタプランター1台</td> </tr> <tr> <td>ウ 鶴家営農生産組合（河北）</td> <td>汎用コンバイン1台</td> </tr> <tr> <td>エ 株式会社クリーンライス（河北）</td> <td>乾燥機3台、ビッグホッパー1台</td> </tr> <tr> <td>オ ひろぶち営農組合（河南）</td> <td>ロータリー2台、ロータリーカルチ1台</td> </tr> <tr> <td>カ 株式会社ヒロふあーむ（河南）</td> <td>兼用管理機1台、リードアイ1台 等</td> </tr> <tr> <td>キ かのまた営農組合（河南）</td> <td>兼用管理機1台、GPSアンテナ組一式</td> </tr> <tr> <td>ク 須江営農組合（河南）</td> <td>ロータリー1台、汎用コンバイン1台 等</td> </tr> <tr> <td>ケ 有限会社サンダーファーム牛田（桃生）</td> <td>レーザーレベラー1台、レザコンセット1台</td> </tr> <tr> <td>コ 株式会社入沢ファーム（桃生）</td> <td>サイドカッター1台</td> </tr> <tr> <td>サ 株式会社大地（桃生）</td> <td>播種機1台、ロータリー1台、サイドカッター1台</td> </tr> <tr> <td>シ 株式会社JKファーム（桃生）</td> <td>バーチカルハロー1台、ローラー油圧機1台</td> </tr> </table>							事業実施主体	導入機械	ア 本地生産組合	汎用コンバイン1台	イ (農)大峰アグリフューチャー（河北）	溝堀機1台、サブソイラー1台、タバタプランター1台	ウ 鶴家営農生産組合（河北）	汎用コンバイン1台	エ 株式会社クリーンライス（河北）	乾燥機3台、ビッグホッパー1台	オ ひろぶち営農組合（河南）	ロータリー2台、ロータリーカルチ1台	カ 株式会社ヒロふあーむ（河南）	兼用管理機1台、リードアイ1台 等	キ かのまた営農組合（河南）	兼用管理機1台、GPSアンテナ組一式	ク 須江営農組合（河南）	ロータリー1台、汎用コンバイン1台 等	ケ 有限会社サンダーファーム牛田（桃生）	レーザーレベラー1台、レザコンセット1台	コ 株式会社入沢ファーム（桃生）	サイドカッター1台	サ 株式会社大地（桃生）	播種機1台、ロータリー1台、サイドカッター1台	シ 株式会社JKファーム（桃生）	バーチカルハロー1台、ローラー油圧機1台
事業実施主体	導入機械																																	
ア 本地生産組合	汎用コンバイン1台																																	
イ (農)大峰アグリフューチャー（河北）	溝堀機1台、サブソイラー1台、タバタプランター1台																																	
ウ 鶴家営農生産組合（河北）	汎用コンバイン1台																																	
エ 株式会社クリーンライス（河北）	乾燥機3台、ビッグホッパー1台																																	
オ ひろぶち営農組合（河南）	ロータリー2台、ロータリーカルチ1台																																	
カ 株式会社ヒロふあーむ（河南）	兼用管理機1台、リードアイ1台 等																																	
キ かのまた営農組合（河南）	兼用管理機1台、GPSアンテナ組一式																																	
ク 須江営農組合（河南）	ロータリー1台、汎用コンバイン1台 等																																	
ケ 有限会社サンダーファーム牛田（桃生）	レーザーレベラー1台、レザコンセット1台																																	
コ 株式会社入沢ファーム（桃生）	サイドカッター1台																																	
サ 株式会社大地（桃生）	播種機1台、ロータリー1台、サイドカッター1台																																	
シ 株式会社JKファーム（桃生）	バーチカルハロー1台、ローラー油圧機1台																																	
成 果		<p>12営農組織において、転作用機械を導入し、麦、大豆栽培における規模拡大、適期作業の確立や品質向上が図られた。</p> <p>1 規模拡大面積：15.4ha増加 2 10a当収量：20kg～120kg増加 3 1等比率：10%～40%上昇</p>																																
成果に係る評価		<p>米の需給調整としての転作は必要不可欠な取組であり、その転作に係る有利な交付金を受けるには、担い手に農地集積を図り、麦・大豆・飼料作物を団地として生産することが求められている。このためには、作業機械の導入による適期作業体系の構築が必要であり、今回の事業実施の結果、適期での播種・防除・刈取りの体系が強化され、水田の多面的・効果的な活用と共に生産物の品質・収穫量の向上体制が図られたことから、今後も継続して事業を推進する必要がある。</p>																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	37,953,000	26,445,000	23,511,000				2,934,000																											

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()	
	3 目	農業振興費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		()	
実施計画掲載ページ		P 42	中 事 業		農業振興対策費			
事業コード		003-004-001-00168	事 業 名		園芸特産重点強化整備事業			
目的及び事業内容		園芸生産用施設・設備の導入等により、園芸特産物の安定的な供給を支える担い手の育成・確保を図りながら、組織化による集落農業の実践を進め、高品質で収益性の高い作物の計画的な生産出荷を可能とする産地を育成することを目的とする。						
取組実績		<p>園芸作物栽培に係る施設・機械を導入する補助対象事業者に対し、県補助金（1/3）に市が5%嵩上げし補助金を交付した。</p> <p>1 事業実施主体数：1組織</p> <p>2 導入施設及び機械</p> <p>(1) 桃生町園芸生産者連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイプハウス（3.0間×56.0間） 10棟 ・パイプハウス（2.5間×28.0間） 1棟 ・ジェットヒーター 1台 ・自走式動力噴霧器 1台 						
成 果		栽培施設及び機械の導入による栽培面積の拡大と省力化、加湿設備の導入による冬期間栽培面積の確保により、周年安定栽培の定着と高品質の生産増進が図られ、高品質・安定産地としての市場評価を高めることができた。						
成果に係る評価		農産物生産においては、産地間競争が激しくなっており、この競争を勝ち抜くためには、生産量の増加と省力化による安定生産、コスト削減が必須となっている。このことから、機械の導入や施設整備により生産力の向上や省力化に結びつき、収益性の高い経営が図られており、本市における生産者の高収益性経営を目指すため、継続して事業を推進していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	11,041,000	10,078,000	8,764,000			1,314,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()	
	3 目	農業振興費		(2)	安定的な農業経営対策を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 46	中 事 業		農業振興対策費			
事業コード		003-004-002-01065	事 業 名		担い手育成総合支援事業（農林業）			
目的及び事業内容		本市の第一次産業においては、後継者不足等の理由により就業者の減少が続いている。新たな担い手を確保するために、新規就農者への就農支援助成金や支援拠点となる施設整備等の調査を実施する。						
取組実績		<p>1 新規就農者独立支援事業（補助） 認定新規就農者等に対して1件、250,000円を助成した。</p> <p>2 農業担い手センター運営事業（委託料） 市外からの移住者を対象とした新たな担い手を確保する拠点となる施設を整備した。桃生地区と北上地区に整備し、桃生地区は空家の改修を行いシェアハウスのほか事務所機能を併設し、今後の農業担い手センターの拠点とした。</p>						
成 果		<p>1 新規就農者独立支援事業（補助） 認定新規就農者等の設備投資負担を軽減して、就農経営の改善に寄与した。</p> <p>2 農業担い手センター運営事業（委託料） 市内の空家の利活用として、2地区に整備することにより、シェアハウスとして市外から担い手となりうる方への住む場所の受け皿が整った。</p>						
成果に係る評価		<p>1 新規就農者独立支援事業（補助） 助成対象となる認定新規就農者等を拡充する事業と連携して、更なる制度運営の充実を図る。</p> <p>2 農業担い手センター運営事業（委託料） 受け皿が整ったことにより、各種農業イベントへの参加やSNSを活用し、市外からの新たな担い手の確保に務める。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	17,325,980	16,501,840				16,501,840		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																			
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()																			
	4 目	畜産費		(3)	環境にやさしい農業を推進する		()																			
実施計画掲載ページ		P47	中 事 業		堆肥センター関係費																					
事業コード		003-004-003-00170	事 業 名		有機センター施設整備事業																					
目的及び事業内容		石巻市内4カ所の堆肥センターにおける畜産廃棄物の適正処理、及び良質堆肥を生産するための設備、機械を整備・更新することにより、畜産農業・耕種農業、実需者及び消費者の連携した資源循環型農業の推進を図る。																								
取組実績		設備、機械（車両）の更新を実施した。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>設備、機械名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大谷地堆肥センター</td> <td>屋根・引き戸・レール修繕</td> <td>9,880,034円</td> </tr> <tr> <td>かなん有機センター</td> <td>横行装置・攪拌機・照明修繕</td> <td>1,686,452円</td> </tr> <tr> <td>桃生堆肥処理センター</td> <td>ホイールローダー購入、攪拌機修繕</td> <td>8,055,180円</td> </tr> <tr> <td>北上堆肥センター</td> <td>ホイールローダー購入</td> <td>6,472,440円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>26,094,106円</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	設備、機械名	金額	大谷地堆肥センター	屋根・引き戸・レール修繕	9,880,034円	かなん有機センター	横行装置・攪拌機・照明修繕	1,686,452円	桃生堆肥処理センター	ホイールローダー購入、攪拌機修繕	8,055,180円	北上堆肥センター	ホイールローダー購入	6,472,440円	計		26,094,106円
施設名	設備、機械名	金額																								
大谷地堆肥センター	屋根・引き戸・レール修繕	9,880,034円																								
かなん有機センター	横行装置・攪拌機・照明修繕	1,686,452円																								
桃生堆肥処理センター	ホイールローダー購入、攪拌機修繕	8,055,180円																								
北上堆肥センター	ホイールローダー購入	6,472,440円																								
計		26,094,106円																								
成 果		ホイールローダの更新及び老朽化した設備（屋根、引き戸、レール、横行装置、攪拌機、照明）の修繕により、畜産廃棄物の処理及び有機肥料の生産性が向上し、畜産振興が図られた。																								
成果に係る評価		今後も定期的に老朽化した設備、機械（車両）を更新することにより、各有機施設の健全が運営が図られ、資源循環型農業の推進が図られた。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	29,433,260		26,094,106			16,200,000		9,894,106																		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第5節	消費者に信頼される”石巻ブランド”を形成する		()	
	4 目	畜産費		(1)	製品の品質向上や総合的な流通体制の整備を図る		()	
実施計画掲載ページ		P49	中 事 業		畜産振興対策費			
事業コード		003-005-001-01021	事 業 名		全国和牛共進会宮城県大会出品牛助成事業			
目的及び事業内容		第11回全国和牛能力共進会宮城大会への出品牛作出に向け、同実行委員会出品対策部会が選定した繁殖雌牛、及び生産された肉用牛に対し、経費の一部を助成することにより、石巻市が県内において優良な和牛生産地としての地位を確立することを目的とする。 【助成内容】 (1) 指定交配助成金 20,000円 指定交配後 (4) 特別報奨助成金 100,000円 候補牛選定後 (2) 産子助成金 50,000円 産子調査後 (5) 代表牛特別報奨助成金 1,000,000円 代表牛選定後 (3) 二次選定助成金 50,000円 二次選定後 (新設予定)						
取組実績		1 交付対象者 (1) 全共宮城県出品部会が選定した肉用牛を保留していること (2) いしのまき和牛改良推進組合の会員であること (3) 石巻市内に在住していること 2 助成対象 (1) 全共宮城県出品部会が全共宮城大会出品牛の母体として選定した繁殖雌牛、及び全共宮城県出品部会が指定する種雄牛から生産された肉用牛を対象とする (2) 原則として宮城県内の家畜市場から導入又は保留された肉用牛であること (3) 全共宮城大会に積極的に取り組む意思を有していること (4) 推進組合が実施する研修会や飼育管理指導に協力できること (5) 現在の飼養状況を4年間維持することが見込まれること 3 助成実績 (1) 特別報奨助成金 10件 11頭 1頭当たり 100,000円 計1,100,000円						
成 果		第11回全国和牛能力共進会宮城大会への出品牛作出に向けた、畜産農家の生産意欲が向上が図られた。						
成果に係る評価		平成29年9月に開催された第11回全国和牛能力共進会宮城大会への出品牛作出とはならなかったが、「特別報奨助成」により畜産農家の生産意欲向上に繋がりが、畜産振興が図られた。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,500,000		1,100,000					1,100,000

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第 4 節	魅力的な農林業を確立する		()	
	5 目	農地費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		()	
実施計画掲載ページ	P 48		中 事 業	土地改良事業関係助成費				
事業コード	003-004-003-00181		事 業 名	多面的機能支払交付金事業				
目的及び事業内容	<p>農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を行う。</p> <p>対象区域（管内一円） 7,387ha 交付先：蛇田保全隊 ほかに18活動組織 事業期間 平成26年度～平成30年度</p>							
取組実績	以下の活動組織において、次の活動を行った。							
	1 農地維持活動（水路の草刈、泥上げ、農道の路面維持等）							
	2 資源向上活動（水路、農道等の軽微な補修、草花の植栽等）							
	組織名	H29 参加人数	H28 参加人数	対象 農地面積	組織名	H29 参加人数	H28 参加人数	対象 農地面積
	蛇田	1,142人	1,175人	17,828 a	鹿又	3,257人	3,411人	75,842 a
	稲井東部	2,150人	1,985人	44,400 a	広瀬	2,847人	2,645人	66,584 a
	稲井西部	561人	606人	18,780 a	須江	2,923人	2,936人	39,520 a
	小船越	1,729人	2,612人	53,806 a	北村	2,404人	2,384人	31,896 a
	飯野・成田	1,659人	1,690人	35,101 a	中津山1	3,585人	3,627人	57,306 a
	二俣	2,264人	2,219人	37,268 a	中津山2	2,343人	2,310人	30,073 a
	飯野川	2,470人	2,952人	25,670 a	桃生1	1,662人	1,715人	31,536 a
	北上	603人	698人	19,295 a	太田	1,457人	1,409人	30,803 a
	前谷地	3,913人	3,872人	48,844 a	大川	650人	801人	23,935 a
和瀬	2,947人	3,042人	49,075 a	合 計	40,566人	42,089人	737,562 a	
成 果	<p>地域の各団体が総意をもって地域共同活動として取り組み、地域環境保全、景観形成及び水田農業の持続的な発展など、今後高齢化が進む上で農家・非農家問わず住民が積極的に参加する自覚が芽生えている。</p> <p>また、地域の子供達が参加し、生き物調査を行うなど、地域の身近な自然についての学習も行っており、自然環境等の向上が図られた。</p>							
成果に係る評価	<p>地域が一体となって、身近な環境の維持・保全管理を推進する上で重要な事業であり、今後も持続的に事業が継続されるよう取り組む必要がある。</p> <p>平成26年6月に「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が成立し、平成27年度から施行されたため、安定的な制度となった。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	204,397,000	204,396,930	153,297,692	0	0	51,099,238		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる	
	1 項	農業費		第 4 節	魅力的な農林業を確立する		(3)	大地とともに生きる	
	9 目	東日本大震災関係費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		(1)	被災農林業への再建支援	
実施計画掲載ページ	P 45、P 195		中 事 業	農業復興対策費					
事業コード	003-004-001-00631 003-301-001-00546		事 業 名	農村地域復興再生基盤総合整備事業(農地整備事業) 農山漁村地域復興基盤整備事業(農地整備事業)					
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災した農村地域の復興を目的として農地整備事業を行う。単なる原形復旧だけでなく、大区画化により農地の面的な集約、経営の大規模化・高付加価値を行い、収益性の高い農業経営の実現を目指し、復旧・復興を加速化させる。</p>								
取組実績	1 施行内容								
	地区名	H29主要工事		H29事業費	地区名	H29主要工事		H29事業費	
	広瀬沼	区画整理工	120ha	214,000千円	大川	区画整理工	80ha	60,122千円	
	鹿又	区画整理工 暗渠排水工	83ha 229ha	146,000千円	北上	区画整理工 排水機場工	6ha 1箇所	43,000千円	
	二俣南	区画整理工	53ha	23,800千円	飯野川	区画整理付帯工 一式		4,126千円	
	蛇沼向	区画整理付帯工 一式		1,488千円	三輪田	排水機場工	1箇所	1,786千円	
	青木川	区画整理付帯工 一式		4,836千円	牡鹿	区画整理工	18ha	8,800千円	
	合計	-		390,124千円	合計	-		117,834千円	
	成 果	<p>ほ場区画を拡大するとともに、用排水路の分離・暗渠排水・農道整備等を一体的に整備することにより、ほ場の汎用化・集団化を図り大規模経営の足がかりとなる水田農業の生産性向上と生産コストの低減を図り、地域農業の活性化が図られた。</p>							
	成果に係る評価	<p>担い手が整備された大規模ほ場で、集約的な農業を展開しつつ、優良農地を将来にわたり適切に維持・保全することで、食料自給率を向上させ、農業の多面的機能を十分発揮することができるようになった。</p> <p>また、被災された地域における農地復旧は喫緊の課題であり、関係機関と協議しながらその進め方等を検討している。</p>							
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	507,958,000	507,958,000				507,958,000			

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()												
	2 項	林業費		第 1 節	豊かな自然を次世代に継承する		()												
	2 目	林業振興費		(1)	自然環境を保全する		()												
実施計画掲載ページ	P 99		中 事 業	松くい虫対策事業費															
事業コード	005-001-001-00187		事 業 名	松くい虫対策事業															
目的及び事業内容	松くい虫からの被害拡大を防止し、景観の保全と森林資源の確保を図るため、被害木の伐倒駆除や薬剤の樹幹注入・空中散布による予防を実施する。																		
取組実績	事 業 名		事 業 量																
	松くい虫伐倒駆除事業		39 本																
	河南、桃生地区		66 m ²																
	樹幹注入剤による松林保全対策事業		412 本																
	石巻、牡鹿地区																		
	松くい虫防除事業（空中散布）		184.15 ha																
	松くい虫防除事業（地上散布）		1.22 ha																
成 果	貴重な景観の保全、森林・環境資源としての松林の保護、並びに山林の荒廃を防止した。																		
	石巻圏域の被害量の推移(被害材積量)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>被害量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>5,713m³</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>5,713m³</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,977m³</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,922m³</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,027m³</td> </tr> </tbody> </table>						年度	被害量	H25	5,713m ³	H26	5,713m ³	H27	1,977m ³	H28	1,922m ³	H29
年度	被害量																		
H25	5,713m ³																		
H26	5,713m ³																		
H27	1,977m ³																		
H28	1,922m ³																		
H29	2,027m ³																		
成果に係る評価	適期に伐倒駆除や防除を実施したことにより、被害量の減少に効果上げた。松くい虫の被害拡大を防ぐことにより、森林の多面的機能の維持及び森林資源の保護並びにCO2の削減に努めた。																		
(単位:円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	64,256,000	62,838,598	40,996,163				21,842,435												

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第 3 節	持続的な水産業の発展を図る		()	
	2 目	水産業振興費		(1)	水産資源や水環境の保全・管理に努める		()	
実施計画掲載ページ	P 40		中 事 業	水産振興対策費				
事業コード	003-003-001-00167		事 業 名	密漁対策助成事業				
目的及び事業内容	広域的・組織的に行われているアワビ・ウニの密漁を防止するため、宮城県中部東海区（雄勝・牡鹿地区、女川町）に位置する宮城県漁業協同組合各支所及び牡鹿漁業協同組合で宮城県中部東海区密漁対策委員会を組織。同委員会に対し、共同監視事業に従事する監視船及び陸上監視所の活動経費の一部を補助し、沿岸水産資源の保護及び漁家経営の安定を図る。							
取組実績	1 宮城県中部東海区密漁対策委員会による広域密漁監視活動実施状況 (金額:円)							
	実施漁協(支所)名		年間監視実績		監視に要した年間経費		補助金配分額	
			日数	時間				
	宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船		88	366.5	5,390,419	石巻市	599,384	
	宮城県漁協女川町支所(出島) 監視船、監視所		123	844.5	3,061,746	女川町	213,395	
	宮城県漁協女川町支所(江島) 監視船、監視所		373	2,582.5	18,021,917	女川町	1,286,605	
	宮城県漁協寄磯前網支所 監視船		119	286.0	3,901,819	石巻市	631,591	
宮城県漁協谷川支所(泊浜) 監視船		アワビ漁解禁前の1ヶ月間及び他支所からの要請があったとき組合員所有船により監視活動を実施していたが、運航経費の問題から監視活動は実施していない。						
牡鹿漁協 監視船		157	960.0	5,739,217	石巻市	1,469,025		
宮城県漁協網地島支所 監視船		震災後、運航要員である組合員の高齢化や運航経費問題から常時監視活動は実施していない。又、小型船のため夜間の監視活動は困難である。監視活動は同じ網地島に係留する牡鹿漁協の監視船から要請があった場合補助にあっている。平成29年度、監視活動は実施していない。						
宮城県漁協浜浜支所 監視船		監視船第七JFみやぎ丸(1.9トン)は小型船のため夜間の監視活動は困難である。平成29年度、監視活動は実施していない。						
合 計		860	5,039.5	36,115,118	石巻市	2,700,000		
					女川町	1,500,000		
成 果	組合員の高齢化や運航経費の負担などにより監視活動を実施していない漁協支所があるものの、復旧した監視船、監視所による監視活動を行った結果、不審船を発見し、追尾により漁場外に追い出すなど、密漁行為を未然に防止した。							
		当初計画	実績	割合				
	延べ監視日数	1,036	860	83.0%				
	延べ監視時間	6,200時間	5,040時間	81.3%				
成果に係る評価	アワビやウニなどの密漁防止に向けた取組は、震災前から行われていたが、震災後は高台移転等により被災した多くの住民が浜から離れたため、夜間に漁業者の監視の目が届かない状況となっていることから、密漁監視船・監視所を使用し、継続して夜間の監視活動を実施した結果、密漁船の出没が減少する等の密漁行為の抑止成果に繋がっている。監視活動に係る人件費、燃料費及び維持管理経費等の活動経費負担が実施主体の大きな負担となっているため、本市沿岸水産資源の保護、漁家経営の安定のためには、継続して支援を行っていく必要がある。							
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,700,000	2,700,000					2,700,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		()	
	2 目	水産業振興費		(5)	捕鯨の再開と鯨食文化の維持継承を図る		()	
実施計画掲載ページ	P 42		中 事 業	捕鯨復活活動事業費				
事業コード	003-003-005-00164		事 業 名	捕鯨復活活動事業				
目的及び事業内容	本市は、我が国における近代捕鯨発祥の地として、鯨類資源を国内供給してきたが、現在、商業捕鯨は一時的に禁止されている状態にある。海洋資源の有効的活用と、本市が捕鯨によって築いてきた文化や産業を継承するため、商業捕鯨の再開を目指し、各種の活動を行っていく。							
取組実績	<p>捕鯨再開のため、全国の捕鯨に縁のある自治体（34団体）で「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」を構成し、本市は、我が国沿岸捕鯨の主要基地港を有することから、副会長を務めている。この協議会の組織において、捕鯨復活のための事業に参加し、日本政府や国際社会に対して、科学的に管理された捕鯨を再開することの必要性を強くアピールしていく必要がある。</p> <p>平成29年度は全国鯨フォーラム2017太地に出席したほか、（財）日本捕鯨協会 山村会長を講師として、河北総合センターを会場に出前講座『みんなの知らない鯨のはなし』を開催した。</p> <p>（総会、鯨フォーラム等のイベント参加、政党陳情その他） 全国鯨フォーラム2017太地ほか 3回 （内訳） 7月 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会総会（東京都千代田区） 9月 新北西太平洋鯨類科学調査出港式（北海道釧路市） 出前講座『みんなの知らない鯨のはなし』開催 11月 全国鯨フォーラム2017太地（和歌山県東牟婁郡太地町）</p>							
成 果	<p>1 本市は国内における沿岸小型捕鯨の中核的な基地港を有しており、鯨類捕獲調査の基地港となっている。捕鯨再開のための科学的調査の他、捕鯨技術の継承も図られる。今後も継続して、本市を調査捕鯨の拠点港としていただくよう働きかけるものである。</p> <p>2 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会・全国鯨フォーラム 本会においては、政府に対する要望活動や、捕鯨再開をPRするためのイベント等に参加し、商業捕鯨の再開の必要性を訴えるとともに、政府の活動を後押しするものとなっている。</p>							
成果に係る評価	政府が国際社会に対し、科学的な調査に基づき、捕鯨再開の活動を行う上で、捕鯨に縁のある関係自治体が連携し、捕鯨の必要性を訴えていくことが後押しとなるものであり、今後とも活動を続けていく必要がある。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	577,000		516,470				516,470	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		()	
	2 目	水産業振興費		(5)	捕鯨の再開と鯨食文化の維持継承を図る		()	
実施計画掲載ページ	P 42		中 事 業	鯨食普及事業費				
事業コード	003-003-005-00165		事 業 名	鯨食普及事業				
目的及び事業内容	鯨食文化の維持継承及び普及の促進並びに海洋食糧資源の持続的利用の啓発を図るため、市民等を対象として鯨肉頒布等の活動を実施するもの。							
取組実績	<p>1 住民頒布 冷凍鯨肉 頒布数量 8月（超低温 2日） ミンク鯨赤肉 685kg 10月（大漁まつり 1日） ミンク鯨赤肉 160kg 12月（超低温 2日） ミンク鯨赤肉 1,480kg （上品の郷 1日） ミンク鯨赤肉 420kg 3月（石巻合同庁舎 1日） ミンク鯨赤肉 143kg 全体 ミンク鯨赤肉 2,888kg</p> <p>2 学校給食 保育所 年1回、幼稚園、小・中学校 年2回 合計 1,540kg</p>							
成 果	国の鯨類捕獲調査事業の副産物である「鯨肉」を購入し、市民への頒布や市内小・中学校、幼稚園の児童生徒の給食に取り入れることにより、低脂肪、高たんぱくで希少な栄養素を含んでいる鯨肉の食習慣の普及と啓発が図られ、地域の鯨食文化の伝承にも寄与できた。							
成果に係る評価	平成29年度の頒布会は夏と冬に超低温冷蔵庫で開催したほか、大漁まつりや石巻合同庁舎で開催するなど、延べ7日間実施し、準備した鯨肉のほぼ全量が頒布された。購入数量の制限があることから、充分な数量の確保が困難な状況にもあるが、住民の鯨肉への関心が高いことが見受けられた。本市伝統の鯨食文化は、貴重な地域資源であると同時に海洋食糧資源の持続的利用の典型とされていることから、今後、さらに普及と啓発に努める必要がある。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	7,786,000		7,511,754				7,511,754	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費				(1)	海とともに生きる
	2 目	水産業振興費				()	被災水産業への再建支援
実施計画掲載ページ	P192		中 事 業	水産振興対策費			
事業コード	003-103-002-01117		事 業 名	農林水産物等輸出化販路拡大支援事業			
目的及び事業内容	石巻市の水産物及びその加工品の輸出振興に向けて、海外における石巻ブランドの販路の開拓や一層の輸出数量及び輸出品目の拡大を図るため、事業者が実施する石巻産水産物等の輸出拡大に向けた取組みや、輸出に必要な衛生管理水準の向上に要する経費を一部助成するもの。						
取組実績	<p>1 平成29年度事業実績（輸出化販路拡大支援事業費助成金）</p> <p>公募により採択した事業者に対し、支援を行った。</p> <p>採択 1件（石巻魚市場買受人協同組合） 10,000,000円</p> <p>【採択内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語、英語、タイ語に対応したホームページ及び商品紹介ページの構築 SNSによるタイへ向けた情報発信 市産水産物を活用したタイ料理の試作 タイでのテストマーケティング 輸出環境調査 						
成 果	<p>HACCP導入支援では、HACCP申請に必要なコンサルからの指導や体制の構築を支援することで、平成28年度に採択した事業者が平成29年度に認証を取得し、当該事業所における衛生管理基準の厳しいアメリカ圏やヨーロッパ圏へ向けた今後の海外販路拡大の体制構築が図られた（平成29年度は応募事業者無し）。</p> <p>石巻魚市場買受人協同組合については、タイ向けの輸出を目指し、現地でのテストマーケティングを行ったほか、SNSを活用した情報発信をすることで、産地PRと組合員に対する輸出による販路拡大の必要性について情報共有がなされた。</p>						
成果に係る評価	<p>今回買受人協同組合の取組により、輸出事業を活用した販路の回復又は拡大に向け、組合員全体の士気の高揚と国内における魚食の縮小傾向の打開策を見出すきっかけに繋がったものと評価する。</p> <p>また、各事業者においてHACCP取得品目の拡大を行うことで、アメリカやヨーロッパへの輸出拡大を図るとともに、2020年に開催される東京オリンピックに向け、石巻の水産加工品が高鮮度で高度な衛生管理のもと製造されている「安全・安心」な商品であることを広くPRし、国内における販路回復にも努めていく必要がある。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	10,000,000	10,000,000			10,000,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	復興計画	()	地域資源を活かして元気産業を創造するまち											
	3 項	水産業費				()	持続的な水産業の発展を図る											
	2 目	水産業振興費				()	水産業者の経営体質の強化を図る											
実施計画掲載ページ	P41		中 事 業	水産振興対策費														
事業コード	003-003-003-01115		事 業 名	担い手育成総合支援事業（水産業）														
目的及び事業内容	本市の基幹産業である水産業は後継者不足等の理由により漁業就業者数の減少が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、新たな担い手を確保するために、空き家等の未利用の建物を利活用し、短中期的に生活できるシェアハウス機能を持った「石巻市水産業担い手センター」を整備し、担い手育成のための事業運営を行う。																	
取組実績	<p>1 水産業担い手センター運営事業</p> <p>担い手センター事業の実施にあたっては、前年度と同様に一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンへ業務を委託し、事業を実施。同法人は、漁師の担い手育成に寄与することを目的とし、地元若手漁業者などにより組織された団体で、本事業に最適な団体であり、実施に当たっては、地元漁業者の理解・協力が不可欠であることから、宮城県漁業協同組合との共同事業として実施している。</p> <p>(1) 担い手センターの整備、運営</p> <p>これまでに整備した茨浜地区、泉町地区、北上地区に加え、平成29年度は新たに渡波地区に担い手センターを設置し、4か所を運営。他県から移住し、漁業に従事する新規就業者の研修期間中の住まいとして提供した。</p> <p>(2) 短期研修の実施</p> <p>漁業に興味のある人が実際の漁業作業や生活に触れ、漁師になるために学び、自らの将来を考えるプログラム内容の1泊2日の短期研修を3回開催した。</p> <p>①銀鮭養殖編</p> <ul style="list-style-type: none"> 日程 平成29年7月1日～2日 ・場所 小島、立浜 ・参加者 5名 <p>②牡蠣養殖編</p> <ul style="list-style-type: none"> 日程 平成29年11月17日～18日 ・場所 鹿立浜 ・参加者 6名 <p>③海苔養殖編</p> <ul style="list-style-type: none"> 日程 平成30年2月17日～18日 ・場所 渡波 ・参加者 5名 <p>(3) 求人活動の実施</p> <p>漁業協同組合と連携し、受入れを希望する漁業者の求人情報を収集し、WEBサイトに掲載。また、東京、仙台で開催された漁業就業支援フェアに出展し、就業希望者と面接を行った。</p> <p>2 担い手育成総合支援事業</p> <p>担い手育成総合支援事業については、漁業協同組合などによる漁業就業支援フェアへの参加費用を補助し、新規就業者確保活動を支援した。</p>																	
成 果	<p>平成29年度はWEBサイトや求人広告などから50件を超える問い合わせがあり、漁師学校参加者、漁業就業支援フェア参加者など、12名が受入漁業者の下、就業した。</p> <p>平成29年度末時点では離職した方を除き、11名が引き続き、漁業に従事している。（うち4名がセンターに入居）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>就業者</th> <th>離職者</th> <th>現就業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>12人</td> <td>4人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>						区分	就業者	離職者	現就業者	H28	4人	1人	3人	H29	12人	4人	8人
区分	就業者	離職者	現就業者															
H28	4人	1人	3人															
H29	12人	4人	8人															
成果に係る評価	<p>本事業による求人活動や広報活動などにより、平成28年度を超える漁業就業希望者の確保につながった。</p> <p>漁業者の減少を食い止めるため、引き続き、同事業により新規就業希望者を確保、育成するとともに、地元漁業者の協力、理解を得ながら、長期的な取組として実施していく必要がある。</p> <p>また、同事業による効果は漁業、水産業の振興に加え、人口が激減した半島沿岸部への移住定住を促進し、人口増加にもつながるため、人口減少対策としても有効な施策である。</p>																	
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	22,581,080	20,126,201			16,000,000	4,126,201												

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																												
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																												
	6 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																												
実施計画掲載ページ	P190		中 事 業	漁業集落防災機能強化事業費																															
事業コード	003-103-001-00544		事 業 名	漁業集落防災機能強化事業〔復興交付金〕																															
目的及び事業内容	東日本大震災により被災した漁業集落について、土地利用の再検討や集落の復興並びに防災機能の強化を図り、生活基盤の復興を推進するため、集落道、避難路、排水路及び水産関係用地等の整備を行うもの。																																		
取組実績	漁業集落防災機能強化事業に係る下記事業等を実施した。 1 復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等工事施工等に関する一体的業務 712,800,000円 2 復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等管理支援（その2）業務 177,045,480円 3 移転促進跡地整備事業実施設計業務 105,525,300円 4 漁業集落防災機能強化事業調査設計等業務 222,119,280円 5 漁業集落防災機能強化事業調査設計等その2業務 80,518,320円 6 用地取得及び物件等移転補償 95筆、48件																																		
成 果	57集落において工事施工契約を締結し、順次工事着手したことにより事業の推進が図られた。 当初契約日：平成27年9月4日 契約相手：清水・奥村石巻市復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等共同企業体 契約済額：6,545,773,092円 ○ 整備集落数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>漁集事業のみ</th> <th>漁集及び低平地事業</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象集落</td> <td>7</td> <td>50</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td> うち契約集落</td> <td>7</td> <td>50</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td> うち今後契約集落</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>完成集落</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td> うち平成28年度</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td> うち平成29年度</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>								漁集事業のみ	漁集及び低平地事業	計	対象集落	7	50	57	うち契約集落	7	50	57	うち今後契約集落	0	0	0	完成集落	3	9	12	うち平成28年度	2	1	3	うち平成29年度	1	8	9
	漁集事業のみ	漁集及び低平地事業	計																																
対象集落	7	50	57																																
うち契約集落	7	50	57																																
うち今後契約集落	0	0	0																																
完成集落	3	9	12																																
うち平成28年度	2	1	3																																
うち平成29年度	1	8	9																																
成果に係る評価	対象集落57から前年度までの完成集落3を除く54集落のうち、9集落が完成し漁業生産基盤の整備が図られたが、残る未完成集落においても、引き続き生活基盤や防災安全施設整備を実施し、水産業の復興を推進するため、他事業と連携を図りながら事業を継続していく必要がある。																																		
予算の執行状況	(単位：円)																																		
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
1,616,067,781	1,389,345,854			1,045,173,000	344,172,854																														

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる
	6 目	東日本大震災関係費		()		(2)	漁港及び魚市場の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P188		中 事 業	漁港施設機能強化事業費 漁港施設機能強化事業費（県間接補助事業）			
事業コード	003-102-001-00415		事 業 名	漁港災害復旧関連事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容	本市が管理する漁港施設のうち、東日本大震災災害復旧事業の対象にならない施設及び災害復旧事業と併せて改良等が必要な施設について整備を行った。 ・漁港施設機能強化事業による市管理漁港の用地嵩上げ及び避難用タラップの設置等施設整備一式						
取組実績	災害復旧工事に関連する各種事業を実施し、漁港施設の復旧を図った。 1 漁港施設機能強化 (1) 地盤沈下による越波対策や利用形態の変化による漁港整備のあり方について、災害復旧の進捗に合わせて事業計画を精査した。 ア 漁港施設機能強化事業計画修正業務 予算額 9,720,000円（H29現年） 決算額 9,720,000円（H29現年） 繰越額 46,280,000円（H29現年） (2) 災害復旧事業と併せ漁港用地の嵩上げ工事及びタラップの設置を行い、施設の復旧を図った。 ア 漁港用地の嵩上げ工事 (鮫ノ浦、北上(小滝、大指、小指)、谷川、大須、名振、荒、泊、給分、大泊) 予算額 819,729,850円（H28繰越804,729,850円、H29現年15,000,000円） 決算額 174,038,960円（H28繰越） 繰越額 0円 イ 避難誘導施設整備工事（タラップ） (折ノ浜、月浦、侍浜、牧ノ浜、小網倉、泊、前網、長渡、明神、小島、桑の浜、熊沢、荒、白浜、北上(相川、小滝、大室)、小竹、鮫ノ浦、水浜分浜、名振、大須、大泊) 予算額 37,691,000円（H27繰越23,140,080円、H29現年14,550,920円） 決算額 36,514,880円（H27繰越21,963,960円、H29現年14,550,920円） 繰越額 54,929,080円（H29現年） ウ 漁港用地の嵩上げ工事（県間接補助事業）大泊漁港 予算額 42,612,900円（H28繰越18,987,900円、H29現年23,625,000円） 決算額 23,623,920円（H29現年） 繰越額 46,944,640円（H28繰越9,944,640円、H29現年37,000,000円）						
成 果	水産基盤施設の復旧に努め、漁港施設災害復旧事業及び関連する事業を実施することで沿岸漁業の復旧・復興の進捗が図られた。避難用のタラップを設置したことにより、有事の際の安全性が高められた。						
成果に係る評価	水産施設施設の復旧及び沿岸漁業の復興を促進するため、引き続き災害復旧事業や関連する各種事業を迅速かつ確実に実施することが重要である。						
予算の執行状況	(単位：円)						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
909,753,750	243,897,760	18,308,000		167,601,000	57,988,760		

予算科目	6 款	農林水産業	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる
	6 目	東日本大震災関係費		()		(2)	漁港及び魚市場の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P188	中 事 業		漁港海岸整備事業		
事業コード		003-102-001-00533	事 業 名		海岸保全施設整備事業		
目的及び事業内容		本市が管理する漁港海岸のうち、海岸保全施設がなかった海岸において、東日本大震災により新たに設定された津波防護高さによる防潮堤や水門、陸閘等の整備を行うもの。 震災以前からある既存の海岸保全施設については災害復旧事業により復旧を行っているが、保全施設の無かった区域や保全施設がない漁港海岸においては本事業で防潮堤等を整備し、津波や高潮からの被害の軽減を図る。					
取組実績		1 海岸保全施設整備事業 (1) 水門等遠隔監視操作設備詳細設計及び海岸保全施設整備工事 ア 水門等遠隔監視操作設備詳細設計 予算額 28,791,180円 (H28繰越) 決算額 19,650,000円 (H28繰越) 繰越額 31,867,080円 (H28繰越) イ 海岸保全施設整備工事 (名振、荒、十八成浜、折ノ浜、大原) 予算額 683,023,200円 (H27繰越333,936,000円、H28繰越307,671,200円、H29現年41,416,000円) 決算額 663,790,949円 (H27繰越318,224,160円、H28繰越305,228,217円、H29現年40,338,572円) 繰越額 504,336,280円 (H28繰越233,152,280円、H29現年271,184,000円)					
成果		海岸保全施設整備事業と災害復旧事業を連携して実施することで防災機能の向上を図るものであるが、周辺の関連する他の事業と調整が整ったものから段階的に工事を実施し、進捗を高めることができた。					
成果に係る評価		本事業は平成25年度から実施しているが、事業内容が災害復旧事業や背後地で計画されている他の事業との関連性が大きく、調整に期間を要していたが、それらの整備計画が整ったものから段階的に実施に移行した。引き続き、災害復旧事業と併せて海岸保全施設の整備を進め、防災機能の向上を図る必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	711,814,380	683,440,949	341,655,000			341,785,949	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																																																																					
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																																																																																					
	6 目	東日本大震災関係費		()		(2)	漁港及び魚市場の復旧・復興																																																																																					
実施計画掲載ページ		P189	中 事 業		水産物放射性物質対策事業費																																																																																							
事業コード		003-102-003-00421	事 業 名		放射能風評被害対策事業																																																																																							
目的及び事業内容		東京電力福島第一原発事故の影響に伴う放射能問題について、魚市場を流通する主要な魚種のスクリーニング検査を行い検査結果を迅速に公表することにより、魚市場等で水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定した流通を図る。 放射性物質測定機器等の風評被害対策事業 ・簡易測定器による放射能検査の実施 ・放射能情報共有システムによる情報配信																																																																																										
取組実績		1 放射能検査の実施及び放射能情報共有システムの運用 本市では、各魚市場や水産業界と連携し、「石巻から100ベクレル超えの水産物を流通させない。」を目標に掲げ、検査体制を維持し、スクリーニング分析の強化に取り組んでいる。また、これまでの放射性物質検査で得られた測定結果や海域情報などの各種情報を石巻魚市場を利用する卸売人・買受人等の水産業界関係者で体系的に共有し、放射能対策への意識向上と風評被害対策として放射能情報共有システムを運用している。 (1) 平成29年度決算 19,202,306円 (2) 平成29年度実績 年間検査検体数 2,861検体検査済み (うち精密検査実施目安50ベクレル超過 0検体)																																																																																										
		※ 本市水産物の放射性物質検査体制 (平成30年3月31日現在) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器台数</th> <th>検査時間</th> <th>検査日</th> <th>検査能力</th> <th>検査人員</th> <th>検査対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻売場</td> <td>5台</td> <td>4:00～16:00</td> <td>市場開場日</td> <td>50検体/日</td> <td>3名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>牡鹿売場</td> <td>1台</td> <td>9:00～16:00</td> <td>月～金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>北上総合支所</td> <td>1台</td> <td>9:00～16:00</td> <td>月～金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> </tbody> </table>						設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象	石巻売場	5台	4:00～16:00	市場開場日	50検体/日	3名	水揚げ水産物等	牡鹿売場	1台	9:00～16:00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等	北上総合支所	1台	9:00～16:00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																									
設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象																																																																																						
石巻売場	5台	4:00～16:00	市場開場日	50検体/日	3名	水揚げ水産物等																																																																																						
牡鹿売場	1台	9:00～16:00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																																																						
北上総合支所	1台	9:00～16:00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																																																						
		※ 放射能情報共有システムによる情報配信 ・県内外海域における水産物の水揚げ自粛等情報配信 ・日々の放射性物質測定結果速報の配信																																																																																										
成果		本事業で放射性物質測定を実施することにより、宮城県内で最も充実した検査体制を備えた産地魚市場として水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定的な流通が図られた。 1 市場流通数(魚種)及び年間検査検体数(検体) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H23</td> <td>120魚種</td> <td>71魚種</td> <td>50%</td> <td rowspan="2">H28</td> <td>120魚種</td> <td>76魚種</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>2,000検体</td> <td>441検体</td> <td>20%</td> <td>5,000検体</td> <td>3,736検体</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H24</td> <td>120魚種</td> <td>119魚種</td> <td>90%</td> <td rowspan="2">H29</td> <td>120魚種</td> <td>69魚種</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>5,239検体</td> <td>100%</td> <td>5,000検体</td> <td>2,861検体</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H25</td> <td>120魚種</td> <td>92魚種</td> <td>70%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>5,906検体</td> <td>110%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H26</td> <td>120魚種</td> <td>121魚種</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>4,858検体</td> <td>90%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H27</td> <td>120魚種</td> <td>63魚種</td> <td>50%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>4,103検体</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区分	成果指標		達成率	区分	成果指標		達成率	目標値	実績	目標値	実績	H23	120魚種	71魚種	50%	H28	120魚種	76魚種	60%	2,000検体	441検体	20%	5,000検体	3,736検体	70%	H24	120魚種	119魚種	90%	H29	120魚種	69魚種	50%	5,000検体	5,239検体	100%	5,000検体	2,861検体	50%	H25	120魚種	92魚種	70%					5,000検体	5,906検体	110%					H26	120魚種	121魚種	100%					5,000検体	4,858検体	90%					H27	120魚種	63魚種	50%					5,000検体	4,103検体	80%				
区分	成果指標		達成率	区分	成果指標		達成率																																																																																					
	目標値	実績			目標値	実績																																																																																						
H23	120魚種	71魚種	50%	H28	120魚種	76魚種	60%																																																																																					
	2,000検体	441検体	20%		5,000検体	3,736検体	70%																																																																																					
H24	120魚種	119魚種	90%	H29	120魚種	69魚種	50%																																																																																					
	5,000検体	5,239検体	100%		5,000検体	2,861検体	50%																																																																																					
H25	120魚種	92魚種	70%																																																																																									
	5,000検体	5,906検体	110%																																																																																									
H26	120魚種	121魚種	100%																																																																																									
	5,000検体	4,858検体	90%																																																																																									
H27	120魚種	63魚種	50%																																																																																									
	5,000検体	4,103検体	80%																																																																																									
成果に係る評価		市内魚市場等から基準を超える水産物を流通させないための検査を実施することができた。国の検査対象魚種は年々減少傾向にあるものの、未だに県内でもクロダイが水揚げ自粛となっていることと、また福島県沖海域における操業がスズキなど一部解禁になったことから、引き続き風評被害の払拭に努めることとし、今後も安心・安全な水産物を流通させるため、継続的に事業を行っていく。																																																																																										
(単位：円)																																																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																						
	19,356,560	19,202,306				19,202,306																																																																																						

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																				
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																				
	6 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																				
実施計画掲載ページ	P 189		中 事 業	水産業復興対策費																							
事業コード	003-103-001-00423	事 業 名	漁業経営震災復旧特別対策資金利子補給事業〔復興基金〕																								
目的及び事業内容	<p>燃油・漁業資材の高騰や、輸入水産物等による生産物の価格低迷及び震災の影響等により復旧期の資金繰りが困難な漁業者に対し、低利で利用可能な資金を用意することで漁業経営の安定に資するため県が設立した「漁業経営震災復旧特別対策資金」への県利子補給事業と連動し、利子補給を行い、最終的に漁業者が無利子で借入できるように支援するもの。</p>																										
取組実績	<p>1 貸付対象者 震災による被害について市長からの被害の認定を受けた被害漁業者であって、かつ、直近の水揚額又は売上額が平年水準に比し9割に満たない者（貸付対象者のうち、直近の水揚額又は売上額が平年水準に比し7割に満たない者を特認貸付対象者とする。）</p> <p>2 融資機関 漁業協同組合、県内に本店を有する銀行、信用金庫及び信用組合</p> <p>3 資金の使途 (1) 漁業経営に要する経費 (2) 当該年度の購買未払金</p> <p>4 貸付条件 (1) 貸付限度額 5,000千円（特認貸付対象者の場合は10,000千円） (2) 基準金利 年2.35% (3) 貸付利率 無利子 (4) 償還期限等 5年以内（うち据置期間2年以内） (5) 償還方法等 年1回、元本均等償還、償還日：3月31日 (6) 利子補給率 0.35%以内（別途、県が2%を補給）</p> <p>5 融資及び利子補給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>融資機関</th> <th>融資年度</th> <th>融資件数</th> <th>融資金額（円）</th> <th>利子補給額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県漁業協同組合</td> <td>平成25年度、平成26年度</td> <td>8</td> <td>29,700,000</td> <td>43,703</td> </tr> <tr> <td>牡鹿漁業協同組合</td> <td>平成25年度</td> <td>1</td> <td>5,000,000</td> <td>3,835</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>9</td> <td>34,700,000</td> <td>47,538</td> </tr> </tbody> </table>							融資機関	融資年度	融資件数	融資金額（円）	利子補給額（円）	宮城県漁業協同組合	平成25年度、平成26年度	8	29,700,000	43,703	牡鹿漁業協同組合	平成25年度	1	5,000,000	3,835	計		9	34,700,000	47,538
	融資機関	融資年度	融資件数	融資金額（円）	利子補給額（円）																						
宮城県漁業協同組合	平成25年度、平成26年度	8	29,700,000	43,703																							
牡鹿漁業協同組合	平成25年度	1	5,000,000	3,835																							
計		9	34,700,000	47,538																							
成 果	<p>新規の貸付はなく、平成25年度及び平成26年度に漁業者へ貸付した融資機関へ利子補給を行い、漁業者の負担軽減を図った。</p>																										
成果に係る評価	<p>平成25年度及び平成26年度分の融資に対する利子補給の実施により、被災漁業者の資金面での負担を軽減したものの、平成29年度も新規の貸付は申込みがなく、同制度の役割は終了したものが見込まれる。償還が残っている平成26年度分の融資に対する利子補給は今後も継続し、実施するものの、新たな支援については検討が必要である。</p>																										
（単位：円）																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	229,000	47,538			47,538																						

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																														
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																														
	6 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																														
実施計画掲載ページ	P 190		中 事 業	水産業復興対策費																																	
事業コード	003-103-001-00690	事 業 名	水産業共同利用施設整備支援事業〔復興基金〕																																		
目的及び事業内容	<p>被災した漁業者の本格的な復旧を目的に、操業に必要とする施設の整備を支援。漁業協同組合等が整備する共同利用施設のうち、かき処理場等の本格的な施設を復旧する場合で、国の「水産業共同利用施設復旧整備事業」を活用した事業を対象とする。事業費から国県補助金その他助成金を差し引いた額の3分の1以内を限度に補助するもの。</p>																																				
取組実績	<p>1 平成27年度事業実績（事故繰越）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助申請団体</th> <th>件数</th> <th>事業費</th> <th>市補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県中部施設保有漁業協同組合</td> <td>8</td> <td>111,623,000円</td> <td>6,169,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 平成29年度事業実績（現年）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助申請団体</th> <th>件数</th> <th>事業費</th> <th>市補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県中部施設保有漁業協同組合</td> <td>1</td> <td>23,000,000円</td> <td>1,277,000円</td> <td>一部繰越</td> </tr> <tr> <td>漁業生産組合 浜人</td> <td>1</td> <td>27,800,000円</td> <td>1,544,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>50,800,000円</td> <td>2,821,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 翌年度への繰越し 平成29年度事業は2団体に交付決定したが1団体は年度内に整備が完了せず、平成30年度へ繰越しとなった。 平成30年度繰越予算額 745,000円</p>							補助申請団体	件数	事業費	市補助金額	備考	宮城県中部施設保有漁業協同組合	8	111,623,000円	6,169,000円		補助申請団体	件数	事業費	市補助金額	備考	宮城県中部施設保有漁業協同組合	1	23,000,000円	1,277,000円	一部繰越	漁業生産組合 浜人	1	27,800,000円	1,544,000円		合計	2	50,800,000円	2,821,000円	
	補助申請団体	件数	事業費	市補助金額	備考																																
宮城県中部施設保有漁業協同組合	8	111,623,000円	6,169,000円																																		
補助申請団体	件数	事業費	市補助金額	備考																																	
宮城県中部施設保有漁業協同組合	1	23,000,000円	1,277,000円	一部繰越																																	
漁業生産組合 浜人	1	27,800,000円	1,544,000円																																		
合計	2	50,800,000円	2,821,000円																																		
成 果	<p>一部、年度内に完了せず、繰越しとなったものの、震災により被災した荷揚げクレーン等の共同利用施設10件の復旧整備に係る経費の一部を補助し、養殖等沿岸漁業の再開を支援した。</p>																																				
成果に係る評価	<p>国・県と連携し、本事業により水産業共同利用施設の復旧整備を支援することで、被災した漁業者による漁業活動の早期再開や負担軽減が図られ、水揚げ量の回復につながっているため、引き続き、同事業により支援を行っていく。</p>																																				
（単位：円）																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	20,464,000	8,990,000			132,463	8,857,537																															

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる						
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる						
	6 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援						
実施計画掲載ページ	P191		中 事 業	水産業復興対策費									
事業コード	003-103-002-00952		事 業 名	漁業活動ソーラー照明設置事業〔復興交付金〕									
目的及び事業内容	<p>漁業活動の多くは夜間や早朝の暗い時間帯に行われるため、漁港には照明設備が必要だが、震災により漁港内の照明設備が使用不能となったことから、漁業者の作業効率と安全を確保するため、照明を設置するもの。</p> <p>なお、有事の際に非常照明として機能するよう、停電の影響を受けないソーラー式LED照明を設置する。</p>												
取組実績	<p>1 平成29年度事業実績</p> <p>(1) ソーラー式LED照明移設事業</p> <p>漁港の復旧工事により、漁業者が照明を必要とする場所が変わることから、使用状況に合わせて照明灯を移設したものを。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>移設箇所数</th> <th>移設灯数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>32</td> <td>5,806,080 円</td> </tr> </tbody> </table>							移設箇所数	移設灯数	事業費	8	32	5,806,080 円
移設箇所数	移設灯数	事業費											
8	32	5,806,080 円											
成 果	<p>本市の漁港については、東日本大震災による被害の程度が大きく、現在も復旧途中であるものの、復旧が完了し、本設置が可能となった場所については、ソーラー式照明灯の移設を行い、漁業者が必要とする場所に明かりを提供した。</p>												
成果に係る評価	<p>必要な場所への明かりの提供により、震災後の照明灯がない状態での海への転落、転倒事故がなくなり、安全な漁業活動が行われている。また、各浜の実情に合わせて設置をしており、作業効率の向上が図られている。</p> <p>今後も、漁業者の安全と作業の円滑化を図るため、漁港の復旧に合わせて移設するとともに、必要箇所への追加設置を行う。</p>												
(単位：円)													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	41,500,000	5,806,080			4,354,000	1,452,080							

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	()												
	3 項	水産業費		第 節		()												
	6 目	東日本大震災関係費		()		()												
実施計画掲載ページ			中 事 業	水産業復興対策費														
事業コード			事 業 名	水産加工業高度化施設復興整備事業（設備支援）〔復興交付金〕														
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により甚大な被害を受けた地域水産業の復興を目的とし、「高付加価値化」「生産の効率化」「衛生管理の高度化」を満たす水産流通加工に必要な最新の設備等の整備に対し、全体事業費の2分の1の範囲内で支援するもの。</p>																	
取組実績	<p>平成29年度は平成28年度に交付決定した事業の繰越し分（3社）について、事業が完了したことから補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業年度</th> <th>件数</th> <th>事業完了</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>3社</td> <td>3社</td> <td>67,770,000円</td> <td>31,620,000円</td> <td>繰越分</td> </tr> </tbody> </table> <p>[平成27年度～平成28年度事業採択実績合計 51社]</p>						事業年度	件数	事業完了	事業費	補助金額	備 考	平成28年度	3社	3社	67,770,000円	31,620,000円	繰越分
事業年度	件数	事業完了	事業費	補助金額	備 考													
平成28年度	3社	3社	67,770,000円	31,620,000円	繰越分													
成 果	<p>石巻市震災復興基本計画においては、産業の復旧の課題として「被災前の水準への復旧と付加価値を付けた復興が必要」としていることから、本事業により被災前の生産量へ回復させるとともに、高付加価値商品の生産と、販売額の増加を目的として実施した。</p> <p>平成29年度は、平成28年度に交付決定した事業の繰越し分について、事業完了に伴い補助金を交付し、多くの水産加工事業者に対し高度化設備導入に対する支援が図られた。</p>																	
成果に係る評価	<p>市内の水産加工業においては販路の回復、生産数量の減少や労働力不足に加えて、近年は原魚の水揚も低迷し依然厳しい状況が続いている。打開策の一つとして商品の高付加価値化による生産高の回復に向けて本事業により水産加工業者への支援を行った。今後も水産加工事業者の生産量や雇用の回復、経営状況について、引き続き確認していく必要がある。</p>																	
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	31,620,000	31,620,000			25,296,000	6,324,000												

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																								
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																								
	6 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																								
実施計画掲載ページ	P192		中 事 業	水産業復興対策費																											
事業コード	003-103-002-01190	事 業 名	水産加工業従業員宿舍整備事業〔復興基金〕																												
目的及び事業内容	東日本大震災により被害を受けた本市の基幹産業の水産業の生産能力向上のため、中小水産業者等が実施する従業員確保（外国人実習生含む）のための宿舍整備を宮城県と協調して支援することにより、水産業の復興を促進するもの。 従業員の宿舍を整備するため、宮城県の行う「水産業従業員宿舍整備事業費補助金」に対する嵩上げ補助を行うもの。																														
取 組 実 績	平成29年度事業実績 宮城県の公募事業に採択された事業者のうち石巻市内の事業者が3社あり、すべての事業者が平成29年度内に事業が完了できなかったため、平成30年度へ繰越しとなった。 また、平成28年度に採択された8社のうち、平成29年度に繰越しとなっていた4社については、事業が完了した為、補助金を交付した。																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付決定</th> <th>事業完了</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>3社</td> <td>0社</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>4社</td> <td>4社</td> <td>87,301,905円</td> <td>21,825,476円</td> <td>繰越分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7社</td> <td>4社</td> <td>87,301,905円</td> <td>21,825,476円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備 考	平成29年度	3社	0社	0円	0円		平成28年度	4社	4社	87,301,905円	21,825,476円	繰越分	合計	7社	4社	87,301,905円	21,825,476円	
	年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備 考																									
平成29年度	3社	0社	0円	0円																											
平成28年度	4社	4社	87,301,905円	21,825,476円	繰越分																										
合計	7社	4社	87,301,905円	21,825,476円																											
(次年度繰越分)																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>129,656,800円</td> <td>29,257,500円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	事業費	補助金額	平成30年度	129,656,800円	29,257,500円																			
年度	事業費	補助金額																													
平成30年度	129,656,800円	29,257,500円																													
成 果	従業員への雇用促進を目的として水産加工事業者が整備する従業員宿舍整備に対して、宮城県が平成27年度から実施している本支援事業に、本市も協調して支援することで水産加工事業者の従業員確保と負担軽減が図られた。																														
成果に係る評価	震災後の水産加工業では、販路回復の他に従業員の確保（労働力不足）が課題となっており、市の平成29年の従業員数は2,574人、加工品生産数量は約53,300トンとなっており、従業員数は震災前の6割、生産数量は震災前の5割程度に留まっている。 宮城県が採択した事業者のうち、本市の水産加工業者に対し支援を行っているが、募集の度に本市の事業者が採択されていることから、本事業の需要は高く、今後も継続して事業を実施していく予定である。 また、平成30年度からは漁業者及び漁業関連協同組合も対象となったことから、本市においても、対象を拡大して実施していく。																														
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	21,825,976	21,825,476			21,825,476																										

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	()								
	3 項	水産業費		第 節		()								
	6 目	東日本大震災関係費		()		()								
実施計画掲載ページ			中 事 業	水産業復興対策費										
事業コード			事 業 名	水産加工業再生支援事業〔復興交付金〕										
目的及び事業内容	東日本大震災により甚大な被害を受けた地域水産業の復興を目的とし、高度衛生管理機能や高性能の鮮度保持機能などを備えた水産加工流通施設の整備を支援する。 事業内容については、事業実施主体である漁業生産者団体等が市水産加工業再生支援事業の事業計画に関する公募要領に基づいて応募し、選定委員会の決定を経て、事業計画を承認した施設整備事業であって、次のいずれかに該当するものに係る経費を補助対象とし、補助対象事業費の8分の7以内を補助するもの。													
取 組 実 績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の内容</th> <th>具体的内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 水産物加工処理施設</td> <td>水産物の加工処理施設</td> </tr> <tr> <td>② 水産物鮮度保持施設</td> <td>製氷・貯氷・冷凍・冷蔵施設</td> </tr> <tr> <td>③ ①、②の附帯施設等</td> <td>本体施設の機能を補完するため、必要に応じて一体的に整備する以下の附帯施設等の整備も可能とする。 ア 水産廃棄物等処理施設 イ 給水給水施設 ウ 品質・衛生管理高度化施設 エ 施設と関連する事務室及び設備、機器等</td> </tr> </tbody> </table>						事業の内容	具体的内容	① 水産物加工処理施設	水産物の加工処理施設	② 水産物鮮度保持施設	製氷・貯氷・冷凍・冷蔵施設	③ ①、②の附帯施設等	本体施設の機能を補完するため、必要に応じて一体的に整備する以下の附帯施設等の整備も可能とする。 ア 水産廃棄物等処理施設 イ 給水給水施設 ウ 品質・衛生管理高度化施設 エ 施設と関連する事務室及び設備、機器等
	事業の内容	具体的内容												
	① 水産物加工処理施設	水産物の加工処理施設												
② 水産物鮮度保持施設	製氷・貯氷・冷凍・冷蔵施設													
③ ①、②の附帯施設等	本体施設の機能を補完するため、必要に応じて一体的に整備する以下の附帯施設等の整備も可能とする。 ア 水産廃棄物等処理施設 イ 給水給水施設 ウ 品質・衛生管理高度化施設 エ 施設と関連する事務室及び設備、機器等													
※②は第1回目のみ														
成 果	平成27年度事業実績 2回目の実施は養殖を中心とした水産物の受け皿となる「水産物加工処理施設」を整備するための支援を行うものとして、公募により事業者を募集し、選定委員会を実施した。（平成28年度で採択・事業実施） 平成28年度事業実績 選定した5社に対し交付決定を行い、事業を実施してきたが施工調整による工期の延長等により平成28年度内の事業完了が困難となったことから、平成29年度へ繰越しした。 平成29年度事業実績 前年度交付決定を行った5社について、事業の完了に伴い、補助金を交付した。													
成果に係る評価	魚町の水産加工団地を中心とする水産加工業は、震災からの本格的な復旧・復興は進んできているが、震災を機に廃業や工場の移設等により水産加工団地内における水産加工事業者の再開割合は7割程度に留まっているため、本事業を実施することにより、高度衛生管理機能や高性能の鮮度保持機能を備えた水産加工流通施設の整備を支援した。 2回目となる本事業では水産加工事業者の施設整備により、1回目の実施後にまだ回復が停滞している養殖を中心とした前浜の水産物の安定供給のため、その受け皿となる水産加工処理施設の整備を支援した。 東日本大震災により甚大な被害を受けた地域水産業の復興を図るため、本事業を実施した事業者の稼働状況の把握を行い、本市水産加工流通業のさらなる回復状況を注視する必要がある。													
(単位：円)														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源								
	3,499,822,000	3,499,383,000			2,749,515,000	749,868,000								

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章		復興計画	()							
	3 項	水産業費		第 節			()							
	6 目	東日本大震災関係費		()			()							
実施計画掲載ページ			中 事 業		水産総合振興センター整備事業費									
事業コード			事 業 名		水産総合振興センター整備事業〔復興交付金〕〔復興基金〕									
目的及び事業内容		水産物地方卸売市場及び後背地の水産加工団地関係者の研修や加工技術の向上、商品開発の研究等を行うための機能と、漁業者や市場関係者、水産加工業関係者等が利用する食堂や売店、入浴施設等の福利厚生施設、並びに卸売市場と連絡通路で直結し、有事の際の一時的な避難スペースとして活用できる防災機能を備える施設として、「石巻市水産総合振興センター」を整備し、併せて、市場の高度衛生管理に係る備品等を格納、整備を行うための「水産倉庫」を整備する。												
取組実績		<p>1 石巻市水産総合振興センター建設工事の実施（事故線越分・平成29年5月末完成） 【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造3階建て ・敷地面積：1,986.04㎡ ・建築面積：1,041.42㎡ ・延床面積：2,849.60㎡ ・主要室 1階：情報資料室、食堂、購買 2階：貸事務室、試験分析・加工実習室 3階：会議室（大・中・小）、調理実習室、浴室・休憩室、備蓄倉庫 <p>[水産倉庫は平成29年1月完成済]</p>												
成 果		<p>総事業費に対する支出済額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>支出済額</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,060,901,831円</td> <td>2,060,901,831円</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※総事業費及び支出済額は、平成25～29年度までの支出済額合計</p>							総事業費	支出済額	進捗率	2,060,901,831円	2,060,901,831円	100.0%
総事業費	支出済額	進捗率												
2,060,901,831円	2,060,901,831円	100.0%												
成果に係る評価		被災した「水産物流通加工総合管理センター」と「旧卸売市場管理棟」にあった機能を有した「多機能施設（水産総合振興センター）」と「水産倉庫」が完成し、新魚市場の利便性向上や水産業振興を図るための拠点施設整備が完了した。 「水産総合振興センター」については、平成29年4月から指定管理者制度に移行し、「石巻市場買受人協同組合」が指定管理者として管理運営を行っており、水産関係者の利便性が向上した。												
（単位：円）														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源								
	42,984,000	40,737,600			34,740,818	5,996,782								

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章		復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費		第 節			(1)	海とともに生きる
	6 目	東日本大震災関係費		()			(3)	被災水産業への再建支援
実施計画掲載ページ		P191	中 事 業		さけ人工ふ化場整備事業費			
事業コード		003-103-002-00954	事 業 名		さけ人工ふ化場整備事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		稚魚を放流して数年後に漁獲する「さけ」は、沿岸漁業の重要な収入源となっており、さけ人工ふ化場で生産した稚魚の放流が地域の漁業者の漁獲を支えてきた。しかし、牡鹿・後川、雄勝・大原川の両ふ化場は震災で壊滅的な被害を受け、後川は他のふ化場より稚魚を移入し放流しており、大原川は応急復旧し、放流しているが、安定的な生産が難しい状況であるため、津波で甚大な被害を受けたさけ人工ふ化場の復旧整備を行うもの。 ふ化場の本復旧させることで、本施設で生産した稚魚を放流し、安定した漁獲量に戻すことで、被災した漁業者の生業の再生を図る。						
取組実績		<p>1 後川さけ人工ふ化場整備事業 (1)後川さけ人工ふ化場整備工事設計業務 後川さけ人工ふ化場の整備にあたり、基本設計及び実施設計を実施したものの。 契約額：18,792,000円 支出額：18,792,000円 工 期：平成28年11月8日～平成29年9月29日</p> <p>(2)後川さけ人工ふ化場整備工事 後川さけ人工ふ化場の整備工事を実施したものの。スケジュール上、平成29年度内の完了が困難であるため、平成30年10月の完了を目指し、事業を実施。 契約額：338,040,000円 支出額：169,020,000円 工 期：平成29年12月8日～平成30年10月31日</p> <p>(3)後川さけ人工ふ化場整備工事監理業務 後川さけ人工ふ化場整備工事に係る監理業務。工事に合わせ平成30年11月までの工期で実施。 契約額：4,860,000円 支出額：0円 工 期：平成29年12月13日～平成30年11月15日</p> <p>2 大原川さけ人工ふ化場整備事業 (1)大原川さけ人工ふ化場井戸水源・水質調査業務 大原川さけ人工ふ化場の整備にあたり、水源及び水質調査を実施したものの。 契約額：21,676,680円 支出額：21,676,680円 工 期：平成29年10月12日～平成30年2月28日</p> <p>(2)大原川さけ人工ふ化場既存建築物等現況調査外業務 大原川さけ人工ふ化場の整備にあたり、既存施設の調査等を実施したものの。 契約額：9,612,000円 支出額：9,612,000円 工 期：平成30年2月2日～平成30年3月30日</p>						
成 果		後川さけ人工ふ化場は設計業務が完了し、整備工事に着手した。平成30年度の完成に向け、工事を進めていく。大原川さけ人工ふ化場は稚魚の生産に必要な取水施設である井戸の新設に向け、水源・水質調査を行い、また生産施設の本復旧に向け、既存建築物等の現況調査を行った。両調査を基に本復旧に向け、進めていく。						
成果に係る評価		沿岸での定置網や刺し網で漁獲される「さけ」は漁業者の重要な収入であるものの、近年、漁獲量が減少しているため、本事業による施設の本復旧により、健康な稚魚を生産し、放流することで、回帰率の向上、水揚げ量の増加につなげていく。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	229,950,000	219,100,680			165,889,000	53,211,680		